

### 第3学年 国語科学習指導案

日 時 10月23日(金)5校時  
児 童 男19名 女13名 計32名  
授業者 金野 辰教

- 1 単元名 大事なことをたしかめよう
- 2 教材名 すがたをかえる大豆 (説明文)  
食べ物がかせになろう 本で調べる

#### 3 単元について

##### (1) 教材について

第3学年及び第4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。内容においては、「イ 目的に応じて中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと」「オ 目的に応じて内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意しながら文章を読むこと」が掲げられている。また、「書くこと」の目標は、「相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てる」である。内容においては、「イ 書く必要のある事柄を収集したり選択したりすること」「エ 書こうとする事柄の中心を明確にしなが、段落と段落との続き方に注意して書くこと」となっている。

本単元は、説明文「すがたをかえる大豆」を段落やキーワードなどに注意しながら読み取っていく学習と、自分が興味を持った食べ物を選んでそれに関する情報を集めて文章にまとめていく「食べ物がかせになろう」の学習とで構成されている。「すがたをかえる大豆」は、児童にとって身近な食材「大豆」について取り上げられた内容である。しかし、大豆の加工品は見ただけでは大豆からできているとは分からないものもあり、児童にとっては意外性を持った知ることの喜びを得られる内容であるといえる。説明文教材として見た場合、段落構成やキーワードも明確であり接続語も多く登場し、読み取りやすい。書く活動では、文章構成の「はじめ・中・おわり」のよい参考例にもなる教材である。また、「中」の部分が接続語「次に、また、さらに」を使って段落相互を関係づけながら書かれており、これも書く活動に活かすことができる。

##### (2) 児童について

児童は、これまでに「ありの行列」で、段落という言葉を読み、まとまりに気をつけて読む学習を行ってきた。また、それを活かして「おもしろいもの、見つけた」の学習において、伝えたいことが読み手にきちんと伝わるように、事柄ごとに段落に分け、互いの順序を考えて書く学習も経験している。

学級全体としては、国語への関心、音読や読み取りの力に個人差が見られる。読書については意欲的に取り組む児童が多いが、語や文、段落相互の関係を理解して読み取っている子は少ない。

一人学びについては、学習作業に差はあるものの真剣に取り組む児童が多い。全体での学び合いでは、積極的に発言する児童もいれば、友達の意見をじっくりと聞いて考えている児童もいる。教師の方で切り返しや指名をすることで、お互いの考えを確認したり比べたりすることができるようになってきてはいるが、全ての児童がまだそうではないのが現状である。

##### (3) 指導にあたって

本単元では、読むことと書くことを関連づけていく。第一教材「すがたをかえる大豆」では文章構成や接続語、指示語などについてしっかりと意識させて教材文を読み取っていく。児童にとって聞き慣れない言葉も多く出てくるので、国語辞典で調べたり全体で確認したりしながら言葉の意味をしっかりとおさえて学習を進めていきたい。そして、第二教材「食べ物がかせになろう」では、自分が疑問や興味を持った食べ物について調べ、本にまとめていく。本作りの作業の過程で、段落意識を持つこと、文章の構成を考えること、接続語を使って文をつないでいくことなどを身につけさせていきたい。第一次・つかむでは、これから大豆という食べ物を詳しく説明した文章を読んでいくこと、その後自分達で同じように発信していくことを知らせ、その後の読み取りの学習への意欲を高めるようにしたい。

#### 4 指導目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

○いろいろな読み物に興味をもち、読むことができる。

(2) 読むこと・書くこと

◎段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。(読イ)

◎内容を大きくまとめたり、必要なところは細かい点に注意したりしながら読むことができる。(読オ)

◎調べて書く必要のある事柄を収集したり、選択したりすることができる。(書イ)

◎書こうとすることの中心を明確にしなが、段落と段落の続き方に注意して書くことができる。(書エ)

(3) 言語事項

○文章全体における段落の役割を理解することができる。

#### 5 学習指導計画 (17時間扱い 読む7 書く10) 本時 第5時

段階	学習活動	評価規準		
		関心・意欲・態度	○読むこと・書くこと	言語事項
第一次 つかむ	1 全文通読して内容の大体をつかむ。	・教材文を通読し、学習に興味を持っている。	○内容の大体を読み取っている。	・新出漢字や、難語句を理解している。
	2 本作りの学習へ続くことを知り、学習計画を立てる。	・学習の流れを見通し、本作りに興味を持っている。		
第二次 読み取る	3 ①②段落を読み取る。 ・大豆という食品について理解を深める。	・自分の本作りに活かそうと考えながら読んでいます。	○大豆が様々な食品に変わって食べられていることを理解している。	・指示語や接続語の使い方と意味を理解している。
	4 ③～⑤段落を読み取る。 ・大豆をおいしく食べる為の工夫を知る。		○大豆をおいしく食べる工夫について正しく読み取っている。	
	5 ⑥⑦段落を読み取る。 ・大豆をおいしく食べる為の工夫を知る。【本時】		○「初め」「中」「終わり」の大きなまとまりを理解している。	
	6 ⑧⑨段落を読み取る。 ・工夫されてきた理由や、筆者の考えについて知る。		○段落相互の関係を理解し、文章全体の構成をつかんでいる。	
	7 それぞれの段落に小見出しをつけ、文章の構成を確認する。			
第三次 あ ら わ す	8 教材文を読み、活動の見通しを持つ。	・調べたい食べ物と調べる事柄を決めて、学習計画を立てている。		
	9 調べたいものを決め、各自の学習計画を立てる。	・調べることに必要な本を探して読んでいます。	・大事なことを情報カードに書いている。	
	10~12 目的に合った図書資料を探し、調べたい事柄を選び、調べる。	・情報カードを関連付けてまとめようとしている。	・情報を整理し、調べたことを事柄ごとに段落に分けて書いている。	・効果的な書き方について考えている。
	13~15 情報カードを整理し、下書きをする。	・作品のよさを見つけてようとしている		
	16 清書し、仕上げる。			
17 お互いの作品を読みあい評価し合って振り返る。				

## 6 本時の指導

### (1) ねらい

- ・大豆をおいしく食べるための工夫について正しく読み取ることができる。

〈具体の評価規準〉

	おおむね達成	支援の手立て
具体の評価規準と支援の手立て	手がかりとなる言葉から、大豆をおいしく食べるための工夫について正しく読み取り、自分なりの考えを表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペア学習で友達の考えを参考にさせる。</li> <li>・グループ学習で多くの考えに触れさせる。</li> <li>・手がかりとなる言葉のヒントを与える。</li> </ul>

### (2) 本時の指導にあたって

本時では、第6段落から第7段落における大豆をおいしく食べる為の工夫について読み取り、表に整理してまとめていく。「くふう」という言葉を手がかりに考え、サイドラインを引いたりしながら、どのような工夫で大豆がすがたを変えているのかをしっかりと読み取ることができるようにしたい。前時からのワークシートを引き続き使用するので、前時で読み取った工夫と比較しながら理解を深めさせたい。また、文中の接続語や指示語についても適宜ふれていきたい。

一人学びで読み取ったものをペアで学びあい、さらにクラス全体で確認することでどの児童も確実に読み取ることができるように留意して授業を進めたい。

### (3) 展開

段階	学 習 活 動		予想される児童の反応	指導上の留意点
	学習の流れ	発問等		
つかむ	1.前時の学習を想起する。  2.学習課題を把握し、見通しを持つ。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">大豆をおいしく食べるためのくふうを読み取ろう。</div>	○前の時間はどんなことを学習しましたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆をおいしく食べるためのくふうを探した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習計画表を見て、今までの学習の流れを確認する。</li> <li>・ワークシートを基に、前時の工夫についてもふれておく。</li> </ul>
5分				<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時も、前時と同様に文章中から工夫を読み取っていくことを確認する。</li> </ul>
ふかめる	3.課題を解決する。 (1)⑥・⑦段落を音読する。  (2)⑥段落の工夫を読み取る。  <b>【一人学び】</b>	○工夫はいくつあるでしょうか。気をつけながら読んでいきましょう。  ○⑥段落の工夫はどのような工夫ですか。 ○ワークシートに書きましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目に見えない小さな生物の力をかりてちがう食品にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉を意識しながら正しくはっきりと読ませる。</li> <li>・段落にひとつずつ工夫があるということをおさえさせる。</li> <li>・教科書にサイドラインを引かせ、工夫の部分を絞り込んで書かせる</li> </ul>

30分	<p>【学び合い：ペア】</p> <p>【学び合い：クラス】</p> <p>(3)⑦段落の工夫を読み取る。</p> <p>【一人学び】</p> <p>【学び合い：ペア】</p> <p>【学び合い：クラス】</p>	<p>○隣の人と話し合いましょう。</p> <p>○みんなで確かめましよう。</p> <p>○⑦段落の工夫はどのような工夫ですか。</p> <p>○ワークシートに書きましよう。</p> <p>○隣の人と話し合いましょう。</p> <p>○みんなで確かめましよう。</p>	<p>・とり入れる時期や育て方をくふうして食べる。</p>	<p>・各自のまとめをペアで交流し、相違点を明らかにする。</p> <p>・どのような工夫なのか文や言葉の意味を教師の方で切り返しながら全体で確認していく。</p> <p>・⑦段落も上記のように進めていく。</p> <p>・接続語に着目させ、段落のつながりも考えさせる。</p>
10分	<p>4.学習のまとめをする。</p> <p>(1)課題のまとめ 【学び合い：クラス】</p> <p>(2)学習のふり返り 【一人学び】 【学び合い：グループ】 【学び合い：クラス】</p> <p>5.次時の学習を知る。</p>	<p>○今日はどんな工夫が出てきたでしょうか。</p> <p>○今日の学習で分かったことや感じたことはなんですか</p> <p>○次の時間は⑧⑨段落の読み取りをします。</p>	<p>・(確認する。)</p> <p>・いろいろな工夫がある。</p> <p>・他にもまだ工夫があるのかな。</p>	<p>・学習計画表を基にして本時の学習をふり返らせていく。</p> <p>・グループでの学び合いは班で行い、必ず全員が発表するようにさせる。</p> <p>・最後に、グループ内で出た意見や感想を全体で交流する。</p>

(4) 板書計画

まとめ

大豆をおいしく食べるために、様々なくふうがされている。

○食品

味噌・醤油の  
写真

- ・コウジカビの力をかりてつくる。

納豆の写真

- ・ナットウキンの力をかりてつくる。

七段落

【これらのほかに】

○くふう

とり入れる時期や育て方をくふうして食べる。

○食品

えだ豆の写真

- ・まだわかくてやわらかいうちに  
とり入れる。

もやしの写真

- ・日光に当てずに水だけをやって  
育てる。

六段落

【また】

○くふう

目に見えない小さな生物の力をかりてちがう食品にする。

かだい

すがたをかえる大豆

大豆をおいしく食べるためのくふうを読み取るう。

国分 牧衛